

【高知の賃貸生活応援紙】

発行：株式会社 高知ハウス
制作：ノモト エリカ
JULY 2016

Oyen TAKE FREE

Photo: 和田 英知



特集

高知県の公園

～豊かな自然を感じるおでかけ～

「Oyen」が手作業であることから、商品への強い愛着が感じられる。そんな、いも天のイメージが強い大平商店、意外にも創業当時「いも天」はサブメニューだったそう。創業のきっかけにもなった「Oyen」の看板メニュー「すりの身」の天ぷら。

まず「こだわりは何と言ってもいい。すいも、地元産家から直送される。その時期で一番良いものを使用している。そして初代店主が発案したオリジナルの衣はほんのり甘く、「一度食べるとやみつきになる」と言われ、また、サツマイモの皮むきからお客様に手渡しするまでの「Oyen」が手作業であることから、商品への強い愛着が感じられる。

伝 え た ん

I'd like to tell.

～300年もの歴史の中で～



食欲を誘う香りが漂います!



こだわりが詰まったいも天☆

「二代目店主の大平茂雄さんに話を伺ったところ、よく県外の物産展にも出展しないかと声を掛けられるか、お断りをしており、通信販売も考えていない。」とのこと。



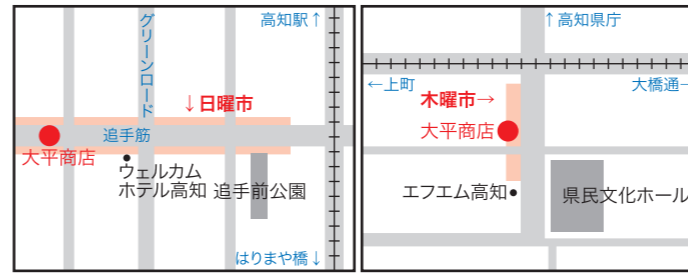
やみつきになるお味に1袋はペロリ!

「ぶら」はイカ・コボウなどを使用しており、他の天ぷらに比べて厚みがあるのに加え、食材本来の味が楽しめる。ちなみにこちらもすべて手作りのため、尾には切り切れてしまうほどの人気商品となっている。

そこにはやはり、お客様に直接高知に来てもらい、高知の良さを伝えていきたいという思いが込められている。「大平商店」の思いが込められている。

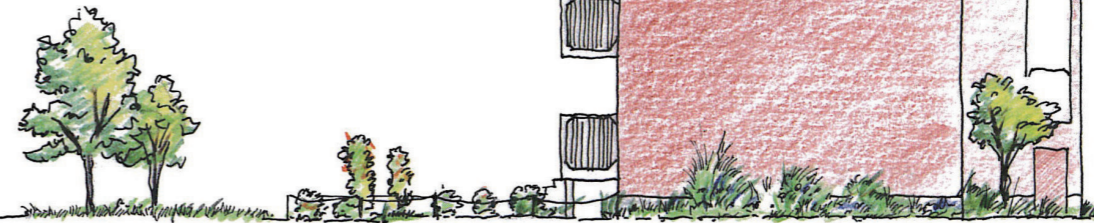
大平商店

日曜日：高知市追手筋(日曜市内)
木曜日：高知市本町(木曜市内)
営業時間：売り切れ次第終了
定休日：日曜日・木曜日以外(夏休みあり) 駐車場：なし



garden

MAMA-APARTMENT
1971～2015
<http://www.garden.kochi.jp/>



自然とうまれる、コミュニティ。

ずらりと並ぶ農園のすぐそばには、入居者が自由に使うことができるコミュニティルームを設けました。将来はピザ窯や小さな屋根付きの東屋も設置予定。畑仕事のあとの入居者同士のティータイムや、お客さんを迎えるパーティーなど、コミュニティが自然と育まれていきます。



【わたしのSUMIYOUお部屋】に登場してくれる方を募集しています。

あなたのお部屋を誌面に掲載しませんか？紹介させて頂いたお客様に、ささやかなプレゼントを差し上げます。

全戸、農園付き。

わたしのSUMYOU vol.11 おへや

Particular room introduction

取材/写真=和田 英知

住所：高知市南万々157-1
交通：JR門行寺駅より徒歩7分
構造：鉄筋コンクリート造2階建て
戸数：23戸
間取り：1LDK 〈現在満室〉



工夫が生きて、余白を楽しむ。

ひとりひとりの暮らしの個性が生きて、真っ白な壁の部屋。床は優しい表情を持つオークの無垢材とし、漁船や客船でも使われている船舶照明が暮らしを柔らかく照らしてくれます。重厚な玄関扉やサッシ、天井やクローゼットの壁面の仕上げは、電電公社の社宅時代の装いをそのまま残しています。思い思いの工夫を重ねながら、楽しく、ゆっくと暮らしていける、そんな空間がここにはあります。

詳しいお問い合わせは、高知ハウス中央店まで
tel:088-824-6811(代表) mail:info@kochihouse.co.jp